

令和2年度事業報告

I 事業の概要

1 公益目的実施事業

(1) 債務保証事業、肉用牛担保管理事業等

ア 債務保証事業

債務保証事業に取り組んだ組合は 12 組合であり、10 の金融機関からの借入れに係る債務保証額は 1,612 百万円（前年同期 2,003 百万円）となった。

なお、年度末債務保証残高は、3,153 百万円(前年同期 3,678 百万円)である。

イ 肉用牛担保管理事業

肉用牛担保管理事業に取り組んだ組合は 5 組合であり、独立行政法人家畜改良センターの個体識別情報との照合を行った。

なお、金融機関からの借入に係る年度末肉用牛担保管理残高は、1,193 百万円(前年同期 1,191 百万円)である。

ウ 乳用牛担保管理事業

乳用牛担保管理事業は平成 28 年度に創設され、同事業に取り組んだ組合は 1 組合であり、独立行政法人家畜改良センターの個体識別情報との照合を行った。なお、金融機関からの借入に係る乳用牛担保管理残高は 60 百万円(前年同期 14 百万円)である。

エ 債務保証対象預託牛の在庫確認業務

組合の在庫確認対象預託牛の個体識別情報と家畜改良センターの個体識別情報との照合及びその結果等の組合への報告を行った。（4 組合：前年同）

オ 肉用牛預託事業

肉用牛預託事業は平成 29 年度に創設され、同事業に取り組んだ組合は 5 組合、参加組合員は、18 名であり、当協会が肉用牛等を導入し、協会の会員の組合員に預託した。なお、年度末肉用牛預託事業残高は、530 百万円(前年同期 521 百万円)である。

(2) 家畜市場環境整備推進等助成事業（協会公募事業）の実施

ア 公募等

家畜市場環境整備推進事業及び肉用子牛導入資金円滑化推進事業について、次のとおり公募を実施した。

- ・ 対象応募団体 中小企業等協同組合法に基づく事業協同組合
- ・ 公募期間 令和2年7月1日～7月31日

- ・ 公募事業審査委員会 令和2年8月27日

イ 家畜市場環境整備推進事業

家畜市場の設備等の整備、防疫対策の強化等を図るための取り組みに対し、13組合、20,738千円（前年10組合、17,942千円）を助成した。

ウ 肉用子牛導入資金円滑化推進事業

債務の保証、肉用牛担保管理及び乳用牛担保管理の事業を推進するための取り組みに対し13組合、8,604千円（前年14組合、9,545千円）を助成した。

(3) 家畜商の営業保証金供託代行事業の実施

新規供託及び廃業者の供託取戻しの代行業務の件数は次のとおりである。

- ・ 新規供託 43件（前年 50件）
- ・ 廃業者取戻し 66件（前年 61件）

(4) 家畜の取引に関する調査研究、普及啓発事業の実施

ア 預託牛導入保証積立預り金の運用管理事業

家畜商組合の預託牛導入資金調達の円滑化を図るため、家畜商組合の預託牛導入資金に係る債務の保証及びその代位弁済に充てるための預託牛導入保証積立預り金の運用管理を行った。

イ 預託牛導入の拡大に向けた運用体制の構築事業

協会の預託事業の普及推進、家畜商組合が預託事業に新規参加する場合の課題の洗い出し・対応策の検討、家畜商協会が実施する預託事業の改善事項の検討等を行った。

①預託事業運用体制検討委員会、全国検討会議等を開催し、事業実施規程及び関連規程の内容検討、組合が預託事業に新規参加する場合の課題の洗い出し、協会が実施する預託事業の改善事項等に係る調査内容、調査結果に基づく対応策の検討を行った。

②協会の預託事業の普及推進等

協会の預託事業を普及推進するため、関心のある組合(3組合)等に対する現地調査、ブロック会議の開催(1地区)、全国普及推進説明会の開催(8組合参加)で説明・協議したほか、同事業の改善に向けた調査を行った。

③啓発普及資料の作成、配布

啓発普及資料、預託牛の拡大に向けた運用体制の構築事業報告書、「家畜商協会の流通促進対策事業に参加し、規模拡大に取り組みませんか」（リーフレット）を作成し関係先へ配布した。

ウ 預託牛導入におけるA B L(動産担保による資金調達手法)の普及推進事業

預託牛導入におけるA B L普及推進のための普及推進検討会議と説明会及び専門委員会を行った。

①A B L普及検討会議等の開催

A B L普及検討会議、専門委員会を開催し事業の実施方法、現状の取り組み状況の説明と今後の普及推進活動の進め方について検討を行った。

②A B L普及推進

預託牛導入におけるA B Lを普及推進するため、アンケート調査を実施し、意見交換のできる組合を絞り込めたが、コロナ過のため現地調査の実施が出来なかった。

③啓発普及資料の作成、配布

A B L普及推進等事業実績報告書を3月に作成し、関係先に配布した。

エ 健全な家畜取引推進のための啓発普及事業

家畜市場の利用促進方策、家畜商の現況及び酪農家における初成牛の生産状況に関するアンケート調査を行った。

① 推進会議等の開催

専門委員会(3年1月28日、2月22日、3月15日)を開催し、事業の実施報告、アンケート調査、啓発普及資料の内容等について検討した。

② 現地検討会の開催

全国的な新型コロナウイルス感染症の拡大懸念等から専門委員による現地状況調査は開催を断念した。

③ 啓発普及資料のとりまとめ

家畜市場組合へのアンケート調査委託及び家畜市場組合の現地調査の結果等を踏まえて専門委員会で検討を行い、事業報告書「家畜商の現況及び酪農家における初成牛の生産状況に関する調査報告」を作成配布した。

オ 肉用牛流通促進対策事業

協会自ら試行的に預託事業を実施することとし、預託牛の導入、販売、資金調達、預託事業参加候補者の現地調査、預託事業参加者の選定等に係る審査委員会の開催、預託牛の確認及び技術指導等を行った。

① 審査委員会の開催

審査委員会を4回開催し、家畜商協会及び組合の預託事業の改善事項の検討、預託事業参加者の選定等を行った。

② 現地調査等

預託事業参加候補者の現地調査(1回)、預託牛の確認及び技術指導(2回)を行った。

カ 肉用牛流通多様化推進事業における「家畜商のデータベースの構築」

生産者がより広範囲な取引を可能にするため、これまで取引が容易でなかった遠隔地からの肥育素牛導入をサポートする仕組みを構築するため、家畜商のデータベース構築のための専門委員会の開催、家畜商等に関するデータベースの構築、利用環境の整備、データベース利用の普及啓発を行った。

① 推進会議等の開催

データベース構築検討委員会(10月は新型コロナウイルス感染症の拡大懸念等により開催を断念。代わってメールや電話等で専門委員各位と相互に連絡、情報交換を実施。令和3年1月28日、2月22日、3月15日に開催。)啓発普及に関しては、同様の状況から開催を断念した。

② 現地説明会の開催:

新型コロナウイルス感染症の拡大懸念等により全国規模の開催を断念。関東近郊の3家畜商組合に対し4回実施した。千葉県家畜商組合(9月2日)、群馬県家畜商組合(9月10日、12月15日)、茨城県家畜商組合(10月19日)

③ データベースシステムの構築が完了(令和3年3月)。ホームページに掲示した。

2 表彰等地域活性化対策事業

(1) 会員組織の活性化事業等の実施

ア 全国優良家畜商の表彰

- ・表彰者：34名
- ・表彰日：令和2年6月17日(定時総会開催時)

イ 家畜商団体ブロック別協議会に対する参加等

例年、地域毎に家畜商ブロック会議が開催され、当協会の役員が出席し、畜産に係る中央情勢及び当協会の活動状況を説明・報告するとともに、各地域における会員の実情把握に努めていたところであるが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の関係で相次いで中止となった。

ウ 会員団体等が行う地域畜産共進会に対する支援と賞状交付

- ・共進会開催件数 15 件
- ・賞状交付 20 枚
- ・副賞交付 23 点（副賞のみ要望が 2 件あり）

エ 家畜商組合等からの推薦者表彰

- ・賞状交付 : 8 点 (東北・北海道)
- ・副賞交付 : 8 点 //

オ 組織対策事業

会員の組織運営の活性化に資するため、会員が実施する諸活動に対し、14 会員、1,811 千円（前年 16 会員、2,178 千円）を助成した。

カ その他

- ① 本年度の会員役員を対象にした全国畜産経営等研修会は、新型コロナウイルス感染症対策としてテレビ会議方式として開催した。
- ② 関東ブロック協議会が開催する枝肉共進会について、同協議会から委託を受けて東京食肉市場内で共進会を実施した。（褒賞式等は開催しない）

(2) 中央団体、関係機関との連携活動

ア 適宜に開催される中央会員連絡会議に出席し、畜産関係情報の収集を図るとともに、施策の円滑な実施等に関して中央畜産関係団体及び関係機関と意見交換を行った。

イ 農林水産省及び農畜産業振興機構が主催する畜産関係諸対策の説明会等に参加し、情報の収集を図り、会員に情報を提供するとともに、関係団体の取組状況の把握に努めた。

ウ 令和元年度「健全な家畜取引推進のための啓発普及事業」において作成した「家畜取引の知識」の普及版を作成し、各県等が開催する家畜商講習会等での活用を図った。

(3) 家畜商移動状況の調査

令和 2 年中における家畜商の移動状況を都道府県畜産課に依頼して調査した結果、2 年中の新免許取得者数 272 名、登録削除者数 584 名であり 2 年末現在の家畜商登録者数は 43,762 名（前年対比△312 名）となった。

II その他報告事項

1 総会、理事会等の開催等

(1) 定時総会の開催

日時：令和2年6月17日

場所：馬事畜産会館 会議室

報告：第1号報告 令和元年度事業報告に関する件

第2号報告 令和元年度公益目的支出計画実施報告書に関する件

決議：第1号議案 令和元年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）の承認に関する件

第2号議案 令和2年度会費及び賛助会費の額並びに徴収方法に関する件

第3号議案 役員を選任に関する件

第4号議案 役員報酬等の額及びその支給基準に関する件

(書面総会)

日時：令和3年3月30日

決議：令和3年度借入金最高限度額承認の件

(2) 理事会の開催

第1回

日時：令和2年5月29日

場所：(書面開催)

決議：第1号議案 令和元年度事業報告及び附属明細書について

第2号議案 令和元年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書について

第3号議案 令和元年度公益目的支出計画実施報告書の件

第4号議案 令和2年度定時総会に関する件

第5号議案 役員を選任に関する件

第6号議案 役員報酬等の額及びその支給基準に関する件

第7号議案 肉用牛預託事業の参加承認基準及び肉用牛預託事業採択に係る事務局選択基準の一部改正に関する件

第8号議案 若齢子牛等預託事業の制定に関する件、

第2回

日時：令和2年12月18日

場所：(書面開催)

報告：令和2年度業務の執行状況に関する件

決議：第1号議案 審査委員会規程の一部改正に関する件

第2号議案 債務保証事業における保証倍率の改定について

第3号議案 肉用牛導入資金円滑化推進事業助成金交付要領の一部改正に関する件

第3回

日時：令和3年3月12日

報告：第1号報告 令和2年度業務の執行状況に関する件

決議：第1号議案 令和3年度事業計画及び収支予算(案)に関する件

第2号議案 一般社団法人日本家畜商協会肉用牛経営安定対策保管事業
(肉用牛流通促進対策事業)実施規程の一部改正に関する件

第3号議案 若齢子牛等預託事業の一部改正に関する件

第4号議案 長期借入金の借入先、借入上限額等の改正について

第5号議案 臨時総会(書面総会)の開催に関する件

(3) 正副会長会議の開催

第1回

日時：令和2年6月17日

場所：馬事畜産会館 会議室

議事：令和2年度第1回理事会の開催について、令和2年度定時総会の開催について、近畿ブロックにおける副会長の推薦について、秋田県家畜商業協同組合理事長の選任について

第2回

日時：令和2年12月18日

場所：(書面開催)

議事：令和2年度業務の執行状況について、審査委員会規程の一部改正について、債務保証事業における保証倍率の改定について、肉用牛導入資金円滑化推進事業助成金交付要領の一部改正について

(4) 審査委員会の開催

第1回

日時：令和2年4月23日

場所：馬事畜産会館 会議室

議事：令和元年度第4四半期債務保証事業等の実績、若齢子牛等預託事業の創設関係規程の制定、債務保証事業に係る指定金融機関の指定

第2回（書面審査会）

日時：令和2年7月3日

場所：馬事畜産会館 会議室

議事：債務保証実施組合の保証条件変更の許諾

第3回

日時：令和2年8月11日

場所：馬事畜産会館 会議室

議事：令和2年度第1四半期債務保証事業等の実績、若齢子牛等預託事業の事業参加の可否、債務保証限度額引き下げに係る債務保証事業の実施状況

第4回

日時：令和2年10月15日

場所：馬事畜産会館 会議室

議事：令和2年度第2四半期債務保証事業等の実績、若齢子牛等預託事業実施要領の一部改正、債務保証に係る保証倍率の改定、債務保証に係る連帯保証書の取り扱い

第5回（書面審査会）

日時：令和3年2月2日

議事：債務保証、肉用牛担保管理、乳用牛担保管理、協会の預託事業及び若齢子牛等預託事業の令和2年度第3四半期実績、債務保証限度額引き上げに係る債務保証状況、若齢子牛等預託事業実施要領の一部改正

(5) 外部監査

令和2年5月14日及び15日当協会において、令和元年度決算について、外部監査人(文野公認会計士)による会計に関する監査が行われた。

また、令和3年3月26日及び29日同会計士による令和2年度決算の期中監査が行われた。

(6) 監査

令和2年5月19日当協会において、令和元年度における業務遂行状況及び収支決算等につ

いて監事監査が行われた。

2 会員、役員、入会預り金等の状況

(1) 会員の入会・脱退

ア 入会預り金会員

入 会：なし

脱 会：なし

イ 会費会員

入 会：なし

脱 会：なし

(2) 役員の異動状況

役 職	期 首	退 任	就 任	期 末
会 長	1			1
会長代行				0
副 会 長	4		2	6
専務理事	1			1
理 事	16	2		14
監 事	2			2
計	24	2	2	24

【役員定数】理事：22～27名以内、監事：5名以内

(3) 保証積立預り金の受入・払戻

①払戻・岩手県家畜商業協同組合 8,490,000円（2月22日返納）

(4) 内閣府（公益認定委員会）等への届出等

公益目的支出計画実施報告書の提出：定時総会で承認を得た決算に基づき、令和2年6月26日に内閣府に公益目的支出計画実施報告書を提出した。

・公益目的財産額：294,311,819円

・公益目的財産残額：127,500,558円（令和元年度末）

・完了予定年月日：平成26年4月1日から平成47年3月31日（令和17年3月31日・21年間）

令和2年度事業報告の附属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。